

帰りの会・学活	放課後・係、部活動	学年会等
<p>○一人一人の目標について、帰りの会等で自己評価させる。併せて教師の評価も加える工夫をする。</p> <p>○目標達成までの過程を重視し、賞賛、励ましを繰り返し、よさに気付かせる。</p> <p>○1分間スピーチ等で意見や感想を発表させる。</p>	<p>○係活動や部活動に取り組む姿から、その子に合った助言、賞賛・励ましの言葉かけをする。</p> <p>○目立たないが、係活動や部活動にまじめに取り組んでいる子に対しては、学級活動や朝・帰りの会等で意図的に取り上げ、賞賛する。</p>	<p>○生活態度や健康等を観察し、教師間や保護者と絶えず情報交換を密にしておく。</p> <p>○教科担任等と定期的話し合いの場を持ち、適切な助言や指導ができるようにする。</p> <p>○奉仕活動、係活動、部活動等の顧問教師と定期的話し合いの場を持ち、必要に応じて、励ましや賞賛の言葉かけをする。 また、悩みや不安にこたえる努力をする。</p>
<p>○1日の生活の中で、自分や友人のよかった行動を互いに認め合い、生活に生かしていこうとする意を持たせる。</p> <p>○児童生徒の長所を生かした活動の場を工夫する。</p>	<p>○係活動や部活動における悩みや不安などについて相談にのり適切な助言や励ましの言葉かけをする。</p> <p>○企画・立案の段階から積極的に参加させ、主体的に活動できるようにする。</p>	<p>○教師間で、相互に授業参観を行い、互いのよさを学び合う。 また、自分の授業の時とは違った児童生徒の学習態度を観察する。</p> <p>○開かれた学年・学級経営を目指し、職員室等での日常会話の中でも、他学級、他学年教師との意見交換を気軽に行うように努める。</p>
<p>○1日の学校生活を振り返らせる場と時間を設け、自分や友人のよい行いをノートに記録させたり、発表させたりする。教師は、情意面を中心に賞賛や励ましをする。</p>	<p>○係活動や部活動等の中から情意面を取り上げ、適切な賞賛や励ましをする。</p> <p>○個を生かす係活動や班活動を工夫する。</p> <p>○その日に学んだことなどを日誌に書かせ、必要に応じて発表の場を設ける。</p>	<p>○「個の存在を認め、大切にす」ための話し合いを年間通して継続的に進める。</p> <p>○個が生かされている事例、個が生かされていない事例を挙げ、その背景について話し合う。</p>
<p>○「いいこと見つけたカード」等を活用して、自分や友人のよさを知り、互いに学び合う態度を育てる。</p> <p>○明日の学習や生活予定等について、自分なりの計画が立てられるようにする。</p>	<p>○係活動や部活動の様子を学年新聞や学級新聞等で紹介し、保護者からも励ましや賞賛が受けられるようにする。</p> <p>○地域の人材に目を向け、教育活動に生かす努力をする。</p>	<p>○おとなしく、控え目な子についても、より多面的にとらえるために、生徒指導主事、養護教諭、事務職員、用務員等のさまざまな情報を正しく活用する。</p>